



平成14年1月25日発行



三重県内各地で次々に生まれつつある  
市民活動支援センターや地域の市民活動ネットワークを紹介するコーナーです。

## よせなべ茶ロン 紀北地域

### 【よせなべ茶ロンってなに??】

私たちの活動の拠点としている紀北地域(尾鷲市、海山町、紀伊長島町)ではそれぞれ目的をもった地域活動が活発に展開されていきました。しかしながら、「何か地域活動したいけど、どこでやとるん?」「いったいこの地域では、どんなおもしろい活動があるん?」など市民活動についての情報をもっている所や地域のネットワークをつくるお手伝いをしたいと地域でさまざまな市民



和やかな集まりです。



よせなべパーティーでのワークショップの様子。

活動(まちづくり、福祉協力、自然保護、国際交流などなど)に取り組んでいる有志で平成11年7月に結成しました。「地域も活動のジャンルも越えてみんなで一緒に楽しく何か取り組む仕組みを考えよう!」「気軽に使える情報ネットワークを創ろう!」「団体と団体をつなぐコーディネートができればいいな!!」と盛りだくさんな目標を掲げてゆっくりじっくり活動を展開しているところです。

### 【名前の由来は??】

いろんなところからのメンバーが寄せ集まって結成しているので鍋に例えて「よせなべ」。そしてとにかく話好きのメンバーが集まったこともあって、みんなが気楽にお茶でも飲みながらサロンみたいに集まれば楽しいかも…ということで「よせなべ茶ロン」となりました。よせなべの中身は色々な素材の個性がでて、おもしろい味を出しています。

### 【よせなべ茶ロンの活動は??】

- ・紀北地域の市民活動情報発信「紀北DEギュッ!!」の発行  
「紀北の情報をギュッと満載」、「紀北のみんなが手と手をギュッと結んでネットワークを」という想いを名前に込めて「紀北DEギュッ!!」というユニークな情報誌を年4回発行しています。よせなべ茶ロンの若手メンバーが編集をつとめ、紀北市民活動にスポットをあて、地元の活動やおもしろい人物を紹介しています。
- ・紀北地域市民活動交流会の開催

2001年3月からスタートし、年に1回「よせなべパーティー」と題しての紀北市民活動団体・グループと交流会を開催しています。第1回は地元の頑張っている団体の事例発表をはじめ、「楽しく活動を続ける秘訣とは?!!」をテーマに情報交換をしました。先日(2002年1月20日)開催した第2回は、伊賀地域で活動中のウィリアムテルズ・アップルさんを講師に「まちづくりへの挑戦」についてお話を聴き、地元のネットワークのあり方について参加者間で話し合いました。終了後は必ずアンケートをとり、次の交流会にいかしています。



◆発行◆  
514-0009  
津市羽所町700番地  
アスト津3階  
みえ市民活動ボランティアセンター  
Tel.059-222-5981・5982・5983  
Fax.059-222-5971  
E-mail open@mienpo.net  
県NPO担当ホームページ  
<http://www.mienpo.net/>  
三重県のホームページ  
<http://www.pref.mie.jp>

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

・地域活動への積極的な参加

メンバーの所属する団体の活動を中心に、地域活動に積極的な参加協力を行い、メンバー間の情報交換・交流を密にしています。「てったいあい」(手伝い合い)の気持ちを大切にもっと地域でネットワークの輪を広げていきたいと構想を練っているところです。よせなべ茶ロンでは「地域にあったらいいな」というくみを自分たちなりに創っていきたく考えています。そのためにももっと自由に集える活動拠点を持ちたいと夢をふくらませているところです。仲間を増やして、地元のニーズにあったこの地域らしいネットワークをみんなで創っていけるよう頑張っていきます。よせなべ茶ロンは走り出したばかりですので、各地のみなさんにもいろいろご指導いただきますようお願いいたします。

問 い 合 わ せ 先

519-3664 尾鷲市坂場町1-12  
七見憲一(よせなべ茶ロン代表)  
Tel.&Fax.05972-2-7043

519-3695 尾鷲市坂場西町1-1  
紀北県民局企画調整部 NPO担当 南口晶子  
Tel.05972-3-3409 Fax.05972-3-2130

ホームページ <http://www.pref.mie.jp/OKIKAKU/HP>  
「きほくのNPOからこんにちは」のコーナーでご覧いただけます

# イベントスケジュール

## (財)三重県国際交流財団(MIEF) 10周年フェスタ

- とき/2月2日(土)PM2:00~PM4:00  
3日(日)AM10:00~PM4:00
- ところ/アスト津3・4・5階 ●参加費/無料
- 内容/ (財)三重県国際交流財団は10周年を迎えました。これからはみなさんと共に「共に生きる世界」を目指します。そこで、「より多くの方にMIEFを知ってもらおう!」をコンセプトに楽しみながら異文化に触れ、学べるようもりだくさんのプログラムを用意しました。なお、「国際交流・国際協力団体パネル展」と「『子どもの権利を知らないで』原画展」は2月2日(日)から16日(土)まで開催します。
- 【2月2日】  
記念講演『地球市民として~私たちはみんな必要とされている人たちなのです~』  
講師…中田武仁さん(国連ボランティア名誉大使)
- 【2月3日】  
みんなで体験!異文化交流、こどものひろば、無料国際電話、海外ボランティアのあり方、国際交流活動の体験を語ろう!、医療・健康&生活・労働相談、教育・留学相談、パネル展示と相談コーナーなどたくさん企画があります。
- 募集人数/2月2日のみ定員あり・270人(託児もあります)
- 問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 (財)三重県国際交流財団 MIEF10周年事業実行委員会  
Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007  
E-mail [mief@mief.or.jp](mailto:mief@mief.or.jp)
- 主催/MIEF10周年事業実行委員会、(財)三重県国際交流財団
- 共催/(財)日本ユニセフ協会三重友の会
- 後援/外務省、JICA中部国際センター、国際連合地域開発センター、三重県、三重県教育委員会

## 地産地消かめやま“食”のフォーラム

- とき/2月10日(日)PM1:30~PM4:00
- ところ/亀山市青少年研修センター
- 内容/吉原ひろこさんによるトークショーのテーマは『楽しく彩る(よそおう)食「日常をオシャレに」』。毎日をファンタスティックに生きるためのアイデアや工夫をお話いただくほか、生産者と消費者のたのしいおしゃべりクイズとパネルディスカッション、地産地消料理のレシピ紹介や試食コーナーもあります。先着100名には参加記念品をプレゼント。なお、AM9:30から行われている「親子の食」コンテストの表彰式も行います。
- 【プログラム】  
PM1:30 吉原ひろこトークショー  
PM2:30 パネルディスカッション「みんなで作る、大地の元気」

- PM4:00 「親子の食」コンテスト表彰式
- 申込・問い合わせ先/亀山市役所 市民課 市民参画女性係  
Tel.05958-4-5007
- 主催/地産地消かめやまネットワークプロジェクト

## 総合的な学習に最適・教職員のための参加型体験講座 ステップ1 「ワークショップはおもしろい」

- とき/第1回2月11日(祝)・第2回2月24日(日)・第3回3月10日(日) 各回ともPM1:00~PM4:00
- ところ/みえ市民活動ボランティアセンター ミーティングルーム1・2(アスト津3階)
- 参加費/1回2000円 3回連続5000円(連続参加券は他の方と共有できます)
- 内容/「生きる力」「ゆとり」がキーワードである総合学習で活用できるワークショップを提供します。教職員、総合学習に関心をお持ちの方、ぜひ体験してみてください。
- 【プログラム】  
第1回「コミュニケーション」~よりよい人間関係のために~  
講師…日比野一子(エンパワメントみえ)  
第2回「権利」~権利って何?権利って誰のもの?~  
講師…志治優美(エンパワメントみえ)  
第3回「国際理解」~地球のためにできること~  
講師…伴和子(フィール アクト ワークショップ)
- 募集人数/各回30人
- 申込・問い合わせ先/エンパワメント事務局  
Tel.&Fax.0594-21-7884
- 主催/エンパワメントみえ、フィール アクト ワークショップ

## 日本語の教え方市民講座

- とき・ところ/【鈴鹿市】2月17日・2月24日・3月3日(各日曜)AM10:00~AM11:30  
鈴鹿市労働福祉会館第1会議室
- 【松阪市】2月20日・2月27日・3月6日(各水曜)  
AM10:00~AM11:30 松阪市産業振興センター小研修室
- 【津市】3月2日・3月9日・3月16日(各土曜)  
PM2:00~PM3:30 みえ県民交流センターミーティングルーム4(津駅前アスト3階) ※各会場とも全3回
- 参加費/9500円(全3回・教材費込)
- 内容/1日目…日本語を教えるってどんなこと?(日本語を教える時の基礎知識)  
2日目…実際の授業を体験しよう!(「あいうえお」の教え方から「ここに本がいる?ある?」まで)  
3日目…動きを表す言葉の教え方「私は本を…どうするの?」(動詞を教える時のポイント・まとめ)



- 募集人数/各会場10人(要予約)
- 主催・申込・問い合わせ先/インターランゲージクラブ  
Tel.052-259-3191
- 協賛/EII教育情報研究所 ●後援/三重県教育委員会、日本語教育新聞社、中部国際日本語講師会

## 子育てワークショップ第2・3回(連続2回シリーズ)

- とき/【第2回】2月20日(水)・【第3回】3月6日(水)  
いずれもPM1:30~PM3:30
- ところ/みえこどもの城研修室(松阪市中部台運動公園内)
- 参加費/無料
- 内容/「子育てしやすい町は、誰にとってもあったかい街」行政の方、NPOなど各団体の方、お母さん、(実は誰でも)みんな集まって、あなたの描く街づくりについて語り合いませんか?進行役はさまざまな分野の参加型ワークショップを企画運営している、非営利民間団体「NIED・国際理解教育センター」事務局長の山中令子さん。主催団体であるトライアングルは松阪・嬉野・三雲3地域の子育て環境を考えていくために生まれたグループです。現在、平成13年度地域NPO活動基盤整備事業「地域に飛び出せ お母さん!」に取り組んでいます。なお、託児は1人300円で行っています。第2回の締切が2月13日、第3回締切が2月27日です。イベント申込の締切日より早くも早くなっていますのでご注意ください。
- 応募締切/第2回…2月19日、第3回…3月5日
- 申込・問い合わせ先/トライアングル Tel.090-6460-5670 E-mail triangle2001@geocities.co.jp

## 北勢塾 情報公開と提供のあり方を皆さんと一緒に考えたいと思います!

- とき/2月21日(木)PM1:30~PM4:30
- ところ/三重県四日市庁舎6階大会議室(四日市市新正4-21-5)
- 内容/開かれた行政運営をめざし、情報の公開と提供のあり方について、三重大学人文学部助教授の豊島明子先生の基調講演『地方分権時代における情報公開のあり方について』をいただきながら、県民やNPOの皆さんと一緒に考えたいと思います。募集対象は北勢地方全20市町村の住民、NPO、行政関係者です。なお、会場の駐車場には限りがありますので、なるべく公共交通機関でお越しください。
- 申込方法/下記までTel、Fax、E-mailにて。
- 申込・問い合わせ先/四日市保健福祉部企画グループ  
Tel.0593-52-0583 Fax.0593-52-0598  
E-mail wakaon00@pref.mie.jp ●主催/北勢県民局

## ◀◁ カウンセリング実践研修会 ▷▷ ▶

- とき/2月24日(日)AM10:00~PM4:00
- ところ/三重県教育文化会館5階大会議室(津駅より5分)
- 参加費/3000円
- 内容/みえ親子・人間関係研究会は学校、保育所などの講演会で子どもや身近な人々との具体的な関わり方をお伝えしてきましたが、このたび暮らしに役立つカウンセリング技法の研修会を催します。「相手の気持ちを聴く」「自分を表現する」ワークショップです。講師は当研究会理事長の河合卓子。教員、保育士、子育て中の人などの交流も目的の一つです。ご参加をお待ちしています。
- 申込・問い合わせ先/事務局 Tel.&Fax.059-246-5562  
河合 Tel.&Fax.059-227-4619
- 主催/特定非営利活動法人みえ親子・人間関係研究会
- 後援/三重県教育委員会

## 第2回市民交流会「きらめき亀山21」

★メインテーマ「みんなで語ろう!みんなのために」★

- とき/2月24日(日)PM1:00~PM4:00
- ところ/青少年研修センター(亀山市)
- 内容/新しい亀山のまちへの夢を語ってみませんか?メインテーマのもとに「私にはこんなことができる、みんなでこんなことがしたい」といったことを6つのジャンルにわかれ、日ごろ心の片隅で思っていることを提案したり、話し合ってみたいと思います。一人では到底、実現できそうもないこともみんなで考えれば実現への糸口が見つかるかもしれません。一度交流会に来て、仕事や活動にとらわれず、自由にまちのことを語り合いませんか?一人ひとりの小さな力ではなかなかできなかったことも、大勢の人が力を合わせればできるかもしれない。一つのグループではできなかったことも、多くの仲間が集まればもっと大きなパワーを発揮するかもしれない。小さな想いもみんなで語れば大きな夢になるかもしれない。そんな交流会にしたいと思います。ぜひ、普段着で気楽に参加してみてください。
- 【プログラム】
- ・6つのジャンルでの交流会(教育・福祉・文化/歴史・環境・地域の活性化・健康/スポーツ)・フリー交流タイム・全体報告会
- 申込・問い合わせ先/亀山市役所 市民課 市民参画女性係  
Tel.05958-4-5007

## NPO講演会「NPO運営のための秘訣」

～ワシントン・ポスト賞受賞団体の事例から～

- とき/2月26日(火)PM6:30~PM8:30
- ところ/みえ市民活動ボランティアセンター(アスト津3階)
- 参加費/1500円(資料代1000円を含む)当日支払い
- 内容/アメリカのワシントンD.C.では、NPOがそれぞれ自分たちの工夫を凝らした運営方法を発表し合い、優秀な団体を表彰する民間の制度があります。これは「ワシントン・ポストアワード(賞)」と呼ばれ、新聞社ワシントン・ポスト紙がアワードのための資金を提供し、その実施の一切は「Washington Council of Agencies(WCA)」というNPOに任されています。このたび、その「WCA」の事務局長、Betsy Johnsonさんをお迎えし、「ワシントン・ポストアワード」でのNPO運営における評価のあれこれを語っていただきます。アメリカの事情により延期になっていた講演です。興味のある方はぜひご参加ください。
- 【講演内容】WCAの活動内容、「ワシントン・ポスト賞」設置の経緯と受賞団体の事例、NPOのマネジメント評価
- 申込方法/Tel、Fax、E-mailで申し込んでください。
- 協力・申込・問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700番地 アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター内三重県NPO担当 Tel.059-222-5982 Fax.059-222-5971  
E-mail open@mienpo.net
- 主催/評価システム研究会  
(NPOの組織評価システム、事業評価システム、NPOと行政の協働評価システムの開発について研究しているグループです)

日本の渚百選、砂利浜を走る過酷なレース

## 七里御浜 じゃり浜駅伝・マラソン大会 じゃりんピック2002

- とき/3月17日(日)AM9:00~(雨天決行)  
じゃり浜マラソンAM10:30、じゃり浜駅伝AM11:00スタート
- ところ/七里御浜海岸(南牟婁郡御浜町)
- 参加費/マラソン・駅伝参加者…3000円(小中高生2000円)、屋台村出店…5000円、テント利用による出店…1000円。

その他の競技や見学は無料

●内容/じゃり浜マラソン・駅伝のほか、50m走やじゃり浜フラッグス、じゃり浜ソフトバレーなどの競技もあります。この他、メイン会場である阿田と海岸のふれあいビーチ芝生広場では屋台村や物産展、フリーマーケットなど多彩な催しも行います。なお、総合案内所にはボランティアスタッフが車を準備しています。体が不自由な方やお年寄りの方などはご利用ください。

●応募締切/マラソン・駅伝…2月20日、ソフトバレー・フラッグス・50m走・物品販売・屋台村・フリーマーケット…3月3日

●申込方法/各企画により方法や必要書類が違います。詳しくは下記までお問い合わせください。

●主催・申込・問い合わせ先/519-4323 熊野市木本町622-13 NPO法人「Theくまの」内 七里御浜じゃりンピック実行委員会 Tel.05978-8-1010 Fax.05978-8-1022

## MIEチャイルドライン講演会・公開座談会

### 子どもは育てるもの

### それとも 育ち合うもの

## MIEチャイルドラインからの問いかけ

●とき/3月23日(土)PM1:00~PM4:30

●ところ/三重県総合文化センター 男女共同参画センター 多目的ホール ●特別会員券/青少年700円 大人1500円

●内容/MIEチャイルドラインは青少年による青少年のための電話です。そして、指示しない指導しない電話です。ただただ掛け手の心に寄り添い耳を傾ける電話です。

「えっ!電話の受け手が何の資格もない青少年にできるの?」「指導もしない電話に意味があるの?」など様々な疑問をもたれるとおもいます。今回のイベントでは子どもの権利条約ネットワーク代表・全国チャイルドライン支援センター理事である喜多明人さんの講演後、喜多さんとMIEチャイルドラインに関わっている青少年との公開座談会を開催します。司会進行は特定非営利活動法人三重県子どもNPOサポートセンター理事長の田部真樹子さん。受け手やスタッフをしようと考えている方だけでなく、教育に携わっていらっしゃる方、行政の方、企業の方々にも「子どもが育つ地域社会」をつくる一員として考えていただくきっかけにしたいと思えます。

●申込・問い合わせ先/514-0002 津市島崎町132-40 特定非営利活動法人三重県子どもNPOサポートセンター内MIEチャイルドライン準備会 Tel.059-223-4944 Fax.059-223-3100 E-mail kodomo@aquafamilie.ne.jp

## ネットワークのよびかけ

パソコン初心者の疑問・トラブル解消、お助けします!

## パソコンSOS

ここ数年、各地でIT講習が実施され、パソコンを使用される方も増えました。その一方で、基本は講習で習ったけれど…「こんなことができない」「あんなことをしてみたい」と考えられている方も多数あると思います。私たちは仕事でパソコン初心者の講習を行っているのですが、その場で適切な対応、指導を行うことが大切だと実感しました。そこで思い立ったのが、ちょっとした疑問やトラブルに対応できる市民活動団体「パソコンSOS」の設立です。電話にて、または近くのメンバーが訪問して「パソコンSOS」支援を行います。

●活動内容/パソコン初心者の疑問および、トラブル解消の手助け。電話にて状況を説明していただき、操作指導をします。ご自身での対応が難しい場合はメンバーが訪問して、対応もさせていただきます。

●料金/基本的には無料。ただし、訪問の場合は、交通費(実費・2000円程度)をいただきます。

●問い合わせ先/四日市市中川原1丁目15-8 パソコンSOS

Tel.090-3583-8850(瀬下(せしも)雄一) Tel.090-9176-2725(倉田征典)

## 市民活動を応援します!~宿泊研修にぜひ、ご利用ください~ 三重県立鈴鹿青少年センター

5名以上の団体ならどなたでも利用できます。各種情報機器(OHP、プロジェクター、コピー、印刷機など)、パソコン21台(インターネット利用可能)完備。

宿泊料(県内)		
1泊(一般)	リネン料	
1260円	265円(2泊目から70円)	
食事代		
朝食400円	昼食580円	夕食700円

●問い合わせ先/鈴鹿市住吉町南谷口 三重県立鈴鹿青少年センター Tel.0593-78-9811 Fax.0593-78-9809 E-mail suzukayc@mecha.ne.jp ホームページ <http://www.mecha.ne.jp/~suzukayc/>

## ピースパック(平和の小包)のお礼

1月号に掲載していただき、呼びかけたピースパック活動に協力していただき、ありがとうございました。

私たちはこんなにたくさんの方に協力してもらえるととは思っていませんでした。びっくりしました。そしてピースパックのことをいろんな人にわかってもらえて、とってもうれしかったです。

13年度の募集は12月15日で終わりましたが、ピースパック活動は来年度も続きますので、またよろしくお願ひします。

ガールスカウト三重3団 ジュニア部門

●ホームページ/<http://www.girlscout.or.jp/howto/katudo/activities/peace.html>

## みなさんへのお知らせ

### 【NPO担当から】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は3団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO担当及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

#### ●認証申請団体

(1)名称、(2)申請年月日、(3)代表者の氏名、(4)法人の事務所の所在地、(5)縦覧期間、(6)認証の種別、(7)定款に記載された目的。

#### 【115】

(1)特定非営利活動法人With A Will (2)平成13年12月25日 (3)名島 健 (4)津市大門7番15号津センターバレス3階 津市市民活動センター内 (5)平成14年2月25日まで (6)設立 (7)この法人は、広く地域の人々に対して、様々な生活に関する支援を行い、地域住民と共に住みやすい環境作りに寄与することを目的とする。

#### 【116】

(1)特定非営利活動法人三重デザイン協会 (2)平成13年12月25日 (3)田中郁夫 (4)津市北河路町19番地1 (5)平成14年2月25日まで (6)設立 (7)この法人は、すべての人々に対し、優れたデザインの振興、啓発、普及及び交流を行うことにより、地域の活性化と心豊かな文化の形成に寄与することを目的とする。

#### 【117】

(1)特定非営利活動法人ピギナーズ (2)平成13年12月27日 (3)中家恵理子 (4)南牟婁郡紀宝町井田2095番地の4 (5)平成14年2月27日まで (6)設立

(7)この法人は、パソコン初心者や障害者等に対して、情報機器の操作や導入及び利用を支援する事業を行い、地域の情報化の推進と情報格差の是正を図り、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

【118】

(1)特定非営利活動法人まほろば (2)平成14年1月16日

(3)野呂久嗣 (4)飯南郡飯高町大字七日市850番地

(5)平成14年3月16日まで (6)設立

(7)この法人は、在宅で介護が必要な高齢者や障害者等支援を必要とする人々に対して、住民の参加と行政との連携による在宅福祉サービス等を提供し、地域福祉の向上・増進に寄与するとともに、環境問題、少子高齢化社会にける諸問題等に積極的に取り組み、世代を問わず地域住民全員が安心して心豊かに暮らせる社会の実現を目指すことを目的とする。

(平成13年12月16日から平成14年1月16日申請分)

●成立した法人

特定非営利活動法人花とみどりのネットワーク(平成13年10月19日)

特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(平成13年12月25日)

特定非営利活動法人体験ひろば子どもスペース四日市(平成13年12月26日)

特定非営利活動法人ひだまり(平成14年1月8日)

(平成13年11月15日から平成14年1月15日登記完了届出分)

## 【みえ市民活動ボランティアセンターから】

### 使用済み切手収集团体の方へ

みえ市民活動ボランティアセンターでは、ここを活動に利用されている市民活動団体の方や市民の方にご協力願って使用済み切手の収集をしております。提供された使用済み切手がたくさん集まりましたので、発展途上国の医療援助資金や養護施設などの建設資金などを目的に活用していただける収集团体の方はご連絡ください。また、今後も使用済みプリペイドカード類・使用済み切手・書き損じハガキ・外国コイン・ベルマークなど収集していきますので、みえ市民活動ボランティアセンターまでご提供お願いいたします。

●問い合わせ先/津市羽所町700 アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971 E-mail open@mienpo.net

## バーチャル県政企画室2月17日開催!

### NAVIS電子会議室

インターネット上の「電気会議室」に1日だけの会議室を開きます。各家庭のパソコンから下記のホームページに繋いで、参加・発言をしませんか?身の回りのことについて一緒に考え、話し合しましょう。会議のテーマは現在、ホームページに掲載中です。

●とき/2月17日(日)PM1:00~PM9:00

●ところ(ホームページ)/<http://www.pref.mie.jp>(バーチャル県政企画室)

●問い合わせ先/津市羽所町700 アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター 三重県生活部NPO担当 長崎  
Tel.059-222-5983 E-mail open@mienpo.net

## フリーマーケット情報

【くわな駅前フリーマーケット(毎月第2日曜開催)】

●とき/第10回 3月10日(日)AM10:00~PM4:00(雨天決行)

●ところ/桑名駅前ロータリー ●参加費/一般3000円・プロ4000円

●内容/リサイクル活動や、桑名の駅前を活性化させようという考えに賛同できる方!フリーマーケットに出店してみたいという方ならどなたでも。ただし、新品・新古品衣料など、同類多数商品、仕入れ商品を販売する場合はプロ出店とみなします。申込は開催月の3か月前から受け付けます。

●申込・問い合わせ先/511-0079 桑名市有楽町50 桑名フリーマーケット協会 Tel.&Fax.0594-21-2990 Fax.0594-76-1433  
E-mail kazuki-m@mue.biglobe.ne.jp

●主催/桑名駅前商業研究会 ●後援/桑名市、桑名商工会議所

# 助成金 ニュース

## 地球環境基金助成金

●受付締切/2月8日(金)PM5:00必着

●助成の対象となる団体/民間の発意に基づき活動を行う営利を目的としない法人その他の団体。

●助成の対象となる活動/民間団体が行う地球環境保全に資する活動で、次のいずれかに該当するもの。

イ、国内に主たる事務所を有する民間団体による、開発途上地域における環境保全活動。

ロ、海外に主たる事務所を有する民間団体による、開発途上地域における環境保全活動。

ハ、国内に主たる事務所を有する民間団体による、国内における環境保全活動。

●対象事業の期間/平成14年4月1日~平成15年3月31日

●助成の額/活動が広域化・拡大していることから助成額の平均目安は国内400万円、海外600万円とし、地域活動などは地方行政・民間の助成制度の活用を想定し助成下限は100万円程度とします。

●応募方法/募集要項はFax、E-mailなどで下記に請求するか、ホームページからもダウンロードできます。

●問い合わせ先/100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル4階 環境事業団地球環境基金部助成課

Tel.03-5251-1076 Fax.03-3592-5090

E-mail kikin@jec.go.jp

ホームページ <http://www.eic.or.jp/jfge>

## (財)河川環境管理財団河川整備基金助成

●受付締切/2月15日(金)消印有効

●助成の目的/今後の河川整備は健康で豊かな生活環境と美しい自然環境の調和した安全で個性を育む活力のある社会の実現に向けて、流域の視点に立って人と川との関わりをより強めることを目標として進めることが必要となっています。河川整備基金助成事業は、上記の目標に基づく国・地方公共団体の河川整備事業等の効果的・効率的推進に寄与することを目的として、河川・ダム・砂防・海岸など(以下、「河川・ダムなど」という)に関わる多様な活動を助成する事業です。今回、誌面では「3、国民的啓発運動」を掲載します。「1、調査・試験・研究」、「2、環境整備対策」については直接お問い合わせください。

【国民的啓発運動】『1 一般的助成』

●助成の対象となる団体/地方公共団体、法人、任意団体、小中学校

●助成の対象となる活動/

(1)河川・ダムなどに係わる副読本などの作成…河川への正しい国民的理解を得ることを目的として、一体的連帯感をもつ河川の流域ごとに作成される河川・ダムなどに係わる副読本、ビデオ、展示物などの資料の作成

(2)河川愛護・環境教育活動…河川・ダムなどへの国民的理解を深めることを目的として、河川愛護団体、自然保護団体、地域住民などが行う河川愛護・環境教育の実践活動およびこれらの活動のためのプログラム作成、シンポジウム、セミナー、講演会、イベント、コンテストの開催、指導者・コーディネーター育成。小中高等学校におけるクラブ活動などにおいて河川への理解に資する活動、あるいは愛護活動および小中学校の「総合的な学習の時間」における河川を題材とした活動。

(3)河川文化講演会などの開催…河川・ダム事業などへの国民的理解を深めることを目的とした、河川・ダムなどと歴史、風土、文化、伝統技術をテーマとした講演会、シンポジウム、セミナー、イベント、コンテストの開催または歴史、風土、文化、伝統技術に係わる保存・

再生活動。

(4) 水利用の合理化・高度化・水と産業との係わりなどに関する普及啓発活動... 水利用の合理化・高度化・水と産業とのかわりなどに関する国民的理解を深めることを目的としたシンポジウム、セミナー、講演会、イベント、コンテストの開催、ビデオの製作による普及啓発活動。

(5) メディア広報... 国民の河川・ダムなどの事業への理解を深めることを目的としたテレビ、ラジオ、新聞、広報冊子、インターネットなどのメディアによる広報。

(6) 河川に係わる国際交流活動... 国際交流を通じて、治水、利水、環境に関する国民的理解を深めることを目的とした、国際的シンポジウム、セミナー、研究会の開催およびこれらの会合に参加するための海外からの招聘。

(7) 流域交流... 上下流交流、水環境交流などにより治水、利水、環境に関して国民の相互理解を深めることを目的とした、シンポジウム、セミナー、研究会、講演会、イベント、コンテストの開催、流域交流活動のためのネットワークづくり、指導者育成。

(8) その他... 河川・ダムなどの利用、整備の重要性について一般の人々の関心と理解を深めるための(1)から(7)以外の諸活動で、国民一般または地域の人々にアピールするもの。

助成の額 / 全国規模で行うものは1件につき1000万円以内。地域的な規模で行うものは1件につき500万円以内。ただし、小中学校において実施する「総合的な学習の時間」における活動については1件10万円以内。

『2 継続的助成』

助成の対象となる団体 / 法人、任意団体。

助成の対象となる活動 / 1の一般的助成の対象となる諸活動を継続的に行う非営利団体の活動運営費。再度の申請は認めません。

助成の額 / 1件につき最長5年で各年50万円以内。

問い合わせ先 / (財)河川環境管理財団名古屋事務所(三日市芳朗) 450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-10 東海ビル Tel.052-565-1976 Fax.052-571-8627 E-mail kzn@lilac.ocn.ne.jp

朝日・日立システム基金

「中古パソコン支援」と「高齢者・子ども福祉助成金」

受付締切 / 2月20日(火)必着

【中古パソコン支援】

助成の対象となる団体 / 東海3県の市民活動グループ

内容 / 中古パソコンの寄贈とサポート。ただし維持費・増設などは各自負担とします。教育サポートの必要があれば日立システムが戸別訪問や電話または教育にて対応します。

寄贈機器と台数 / 中古パソコン本体(デスクトップまたはノート型)・officeソフト(word/excel)・新規白黒レーザープリンタを一式とし、20式程度。

【高齢者・子ども福祉助成金】

助成の対象となる団体 / 東海3県の「高齢者福祉」や「子ども福祉」の分野を志向した社会福祉活動グループ

助成の額 / 最大10万円、5件程度

応募方法 / 指定の申請書に前年度活動および財務関係報告書コピーまた、活動状況写真などを添付して下記まで郵送。一つの団体が両方の公募に申込みこともできますが、その場合には申込用紙はそれぞれ用意してください。

問い合わせ先 / (株)日立システムアンドサービス中部総務グループ 社会貢献担当 460-0008 名古屋市中区栄3丁目10番22号 Tel.052-263-1837

主催 / (社)福 朝日新聞厚生文化事業団、(株)日立システムアンドサービス

協力 / NPO法人パートナーシップ・サポートセンター、NPO法人市民フォーラム21・NPOセンター

14年度前期環境創造活動助成金募集と説明会

受付期間 / 2月1日(金)~2月28日(木)消印有効

助成の目的 / 県内の団体(グループ)企業、個人が三重県内で行う環境保全活動の経費、環境保全活動を行う団体の物品購入費用を助成することにより、自主的な取り組みを支援し、広めること。

助成の対象となる団体 / 県内に住所を有する団体、企業、個人(個人は県内に勤務する方も可)

助成の対象となる活動 / 三重県内で行う環境保全活動。ただし、以下の事業は対象となりません。

(1) 特定の団体、企業または個人の利益に偏った事業

(2) 政治、宗教活動を主な目的とした事業

対象事業の期間 / 平成14年4月1日~平成15年3月31日

助成メニュー

Table with 5 columns: 助成メニュー, 一般助成A, 一般助成B, 初期助成, 物品助成. Rows include 助成金額(万円), 助成率(上限), 予算額(万円), 特徴, 対象者.

注意事項 / 各助成メニューを通じて申請できるのは申請者1つの事業のみです。各メニューにより申請書や添付書類が異なりますので注意してください。

応募方法 / 各市町村環境担当窓口および各県民局生活環境部環境担当窓口配置されている申請書をご使用ください。事務局から直接送付することも可能です。

問い合わせ先 / 三重環境県民会議事務局(担当:広野、福田) 510-0304 河芸町上野3258(財)三重県環境保全事業団内 Tel.059-245-7512 Fax.059-245-7518

【募集説明会】

以下の日程で募集説明会を行います。気軽にご参加ください。

Table with 3 columns: 開催年月日, 時間, 場所. Rows list dates from Feb 12 to Feb 16 and locations like 三重県上野庁舎, 三重県尾鷲庁舎, etc.

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。

財団法人 助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858 ホームページ http://www.jfc.or.jp/

# ▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。大王町の緑化推進委員会の会長として大活躍されている村瀬和美さんがバトンタッチしたのは、美杉村のキーパーソンのひとりである中田かほるさん。元気いっぱいの明るさがお二人の共通点のようです。

## 互いに助け合う「お互いさまサービス」

……紹介者である村瀬さんとは商工会で知り合ったそうですね？  
私の家は電気店を営んでいて、美杉村商工会に所属しています。現在、そこで女性部長をしているのですが、部長になると県全体の集まりにも出掛けることになります。その時に村瀬さんと知り合って、今でもとても仲良くもっているんです。自分自身ボランティアと思って活動しているわけではありませんが、商工会の役職をしていることで他から声をかけていただきます。強いて言うならそれがボランティアなのかな。

……例えばどんな委員会に参加されているのですか？  
美杉村社会福祉協議会（以下、社協）から委嘱された「ふれあいのまちづくり推進会」の代表をさせていただいています。スタートして今年で5年目ですが、これは当時の厚生省が過疎地対策として各地が独自で事業を立ち上げるよう試験的に資金を出してくれたのが元です。美杉村では「お互いさまサービス」というのを始めました。……どんなサービスなのですか？

美杉村は高齢化が進んでいて、65歳以上の方が人口に占める割合は40%近くになっています。そういう方たちに向けて村民がお互いに助け合うという事業です。具体的には日常生活の手助けが欲しいといわれる高齢者の方が利用会員、それに対して手助けをする方が協力会員という形で登録してもらって、医療関係以外のサポート、食事の準備や掃除などの家事援助や話し相手、安否確認などを行います。

……システムは？  
年会費は500円で、サービスを受けるために30分250円のチケットを購入してもらいます。離れて住んでいる子どもさんが親御さんのために購入することもあります。協力会員さんはもらったチケットと同額の活動費を事務局から振り込んでもらうか、サービスを提供した時間をポイントに変えて、貯めることもできます。アルバイトをするより代金は安いけど、ボランティアとしてのやりがいはあるんじゃないかな？お金が介在する部分や、調査などの事務手続きなど事務局の業務は社協さんがしてくれています。

「ふれあいのまちづくり推進会」「美杉村商工会」



**中田かほる** さんに 聞く

……どちらの会員もたくさん必要ですね。  
どちらかと言えば協力会員の方がたくさん必要でしょうね。必要とされる時間がまちまちですから、協力会員のなかにはお勤めしている

方もいらっしゃるから、幅広い時間をフォローするには人数が必要。利用会員の方は介護保険の認定で要支援状態ではなく、自立と判断されたけれども助けを求めている方が多いです。介護保険がスタートするまではヘルパーさんに来てもらっていた人のなかにも、自立と判断された方がいらっしゃいますから。……介護保険の隙間を埋めるようなサービスですね。

そうですね。それを一つの目的として考え出されたシステムですね。……ずいぶん、先進的ですね。  
サービス開始時期は介護保険とほぼ同じになりましたけど、介護保険の話が出た時は、すべての面をこの制度でフォローできるんじゃないかという雰囲気もありました。お互いさまサービスは必要なくなるかもと思いましたよ。

……介護保険とお互いさまサービス、両方があるからバランスがとれているんですね。  
社協や事業所のケアマネージャーさんも、このサービスを知ってますから「この部分はそちらでもらえない？」って連絡をとりあって、うまくいっているようです。

……発案者はどなたですか？  
講師を招いて講演と指導を行ってもらいながら、社協の方と推進委員として集まった人たちとで少しずつ育んできたんです。

……しかし、立ち上げ当初は大変だったでしょう？  
民生委員さんの仕事なのでは？という声もありましたし、有償にするということで「何でもお金で解決するのか！」とお怒りの意見をいただいたこともありました。でも、ちょっと車で送ってもらうだけでも何かお礼をしなくちゃ……って考えるんじゃないですか？それならチケットをやり取りする方がお互いに気をつかわなくていいんじゃない？って説明しました。今は利用される方も「割り切れていい」って言ってくれます。協力会員の方も30分250円ではガソリン代も出ないことがあります、「それぐらいの方がボランティア精神でできる」と言ってくれます。お互いに歩み寄って……という感じです。

……価格などはどうやって決めたのですか？  
アンケートを村内に配って、1800枚ほど集めました。その結果を元に価格もサービスの内容も決めていったんです。指導してくれた先生も「最低賃金を上回らない金額ならボランティアといえるのでは」とおっしゃっていました。

……会員は増えましたか？  
徐々に根付いてきたと思いますが、まだまだこれからですね。社協さんや役場の福祉関係の方も高齢者のお宅を訪問して話をしてくれているのですが、お年寄りのなかには「難しい話はわからなくて、ええわ」とおっしゃる方もいるし、職員さんの人数的にも細かくフォローするのは無理があるでしょう？その点、私のうちは電気店をしているので集金に行き、「ちょっとお茶でも」っていろいろ話をする機会があるんです。ある方は村で受けたら本人負担1000円のできるインフルエンザの予防接種に連れていってくれる人がいなかったために、息子さんがいる大阪に行った時に4000円も払ってしまってたって言うんです。年末の大掃除にも人手がいるだろうって息子さんが大阪からアルバイトを寄越したそうです。それなら「お互いさま

サービスを利用したら?」と言えるでしょう。そうしたら「そんなサービスがあること、全然知らなかった」って。息子さんにしても近所の人と関係ができていれば何かあった時に安心じゃないですか。だから、さっそく社協の方から資料を息子さんに送ってもらったの(笑)。

自分がしていることをボランティアだって思ったことないんです。人から言われて、ようやく「そうなのかなあ?」って思うくらいなんですよ。

……高齢の方の場合、パンフレットを渡しても端から端まで読むことは少ないでしょうし…。

今、いろんなパンフレットを読み聞かせしようとか、協力会員さんに月1回くらい見回りをしてもらえないとか考えているところです。

……まさに中田さんは歩く広告塔なわけですね。

そんなつもりはないですよ。集金の方も1日かかって、3件しかできなかったりするけどね(笑)。でも役立つ情報を知らずにいる人は結構、多いんです。例えば介護認定の待機中の人にはおむつなどの現物支給があるなんて知らないでしょう?私も知人の悩みを聞いて、社協に電話したら「こんな制度があるよ」って教えてもらったの。結局、私が聞いたことで職員の方が翌日、彼女のところへ行ってくれたんですけど…。お互いさまサービスが軌道にのれば、情報が届きにくいということも解消されるかもって思っています。それに話をすることで、ニーズもわかりますよね。

……社協の方とも良い関係ができていますよね。

仲は良いですよ(笑)。それにふれあいのまちづくり推進会に参加したことで、私も細かなところまで見えるようになってきたように思うし、良かったですね。勉強させてもらったから。

## 村中で踊ろう!よさこいソーラン

……福祉以外のジャンルではどんな活動をされていますか?

今、よさこいソーランがブームでしょう。昨年、夏祭りの時期に素晴らしい指導者の先生と巡り会うことができました。それで美杉村商工会の女性部が中心になって、去年の11月から練習しています。今年1月に行われた賀詞交歓会で女性部が初披露したんです。人前で踊ったことでみんな自信がついたみたい。練習もすごくやる気になっているんですよ。アンコールの声がかかって私も着物の上にハッピを着て踊りました(笑)。

……メンバーは全員、商工会の方ですか?

最近ではケーブルテレビを使って呼びかけたりして、誰でも参加できるようにしています。年末の練習には50人くらい集まりました。美杉村では夏にまつりを行っているんですが、実は私、その時に村全部で踊れたら…って考えているんです。夢は大きくな(笑)。各地区から参加した人がここでしっかりと覚えて、自分たちの住んでいる地区で広めてくれたら、それも無理じゃないでしょ?その第一歩として5月に行われる「ハツラツフェスタ」で、杉の実作業所の子どもたちに踊ってもらえないか、聞いてもらっているところなんです。彼らはそれぞれにハンディを持っていますが、去年のイベントでは体操を披露してくれました。感動しました。だから今年にはよさこいソーランを踊って欲しくないかなあって。

……なぜ、作業所の方たちと一緒に踊ろうと思ったのですか?

私、みんなと仲良しなんです(笑)。社協が関連するイベントと一緒に参加するうちに仲良くなって、今では道で会っても「おねえさん!」って声をかけてくれるんですよ。もちろん、踊りは私が教えに行くつもりだし、鳴子もたくさんありますからね。彼らは音楽が流れてく



メンバーと記念写真。後列真ん中、着物姿なのが中田さんです。

るとリズムにのってくるし、きっと上手に踊れるんじゃないかな。

……周囲の人を巻き込んでいくのが上手ですね。

社協の職員も誘ってるし、老人福祉施設に勤めている子にも「おじいちゃん、おばあちゃんたちにどう?」って勤めてます(笑)。車いすを利用している方などは踊るのは無理かもしれないけど、鳴子を振るだけでも楽しいと思うんです。音楽療法とまではいかなくても、役立つことはあるんじゃないかな。他の地区に高齢者の踊りの会があるんですが、そこの方にも話しました。「あんな激しい踊り、おばあちゃんたちには無理じゃない?」と言われてましたけど、何も激しい踊りをするのではないと思います。振りを変えたりして、踊りやすいように踊ればいい。お年寄りから、子どもたちまでみんなが踊ればいいと思っています。

……自分たちのグループだけで固まってしまう人も多なかで、その発想は素敵ですね。

自分たちだけが楽しければいいという気持ちは全然無いんです。みんな楽しくやりたい。いろんな世代の人とつきあいがあるから、そう考えるのかもしれない。

……美杉村のキーパーソンですね。

いえいえ、とてとても。何でも自分がしているわけじゃありませんよ。よさこいソーランの練習にしても、別の子たちが中心になってみんなを引っ張ってくれています。みんなが助けてくれるから、できるんです。

……ご家族の手助けも必要ですよ。

夫は私と正反対の性格。根っからの技術屋ですから話すことが苦手なんです。だから美杉村生まれの夫よりも、今では嫁いで来た私の方が村のことはくわしいくらい(笑)。でも何も言わずに出してくれるから、いろんなことができるんです。一番の私の協力者です。「また、今日もか?」なんて一言でも言われたら何もできないですよ。

……出掛ける機会も多いでしょう?

時には体が3つあればな…って思うこともあります。でもここで商売をさせてもらって、商工会の役もさせてもらった。だからこそ美杉村にもっと活気が溢れるようにいつも考えていたいんです。私、自分がしていることをボランティアだって思ったことないんです。人から言われて、ようやく「そうなのかなあ?」って思うくらいなんですよ。だから今は「無理せず、自分のできることを続けていこう」ただ、それだけです。

中田かほるさん

住所/一志郡美杉村奥津

Tel.059-274-0163

中田かほるさんはこの人を紹介します。

前川いつ子(まえがわいつこ)さん

一人暮らしのお年寄りなどに手づくりのお弁当を届ける活動のほか、趣味をいかしたさまざまなボランティア活動を行っています。



今年の賀詞交歓会で、よさこいソーランを初披露。

おねがい

市民活動ニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動ニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail open@mienpo.net

転載を希望される場合は必ずNPO担当に連絡してください。